

じょいんと通信

第159号・湘南鎌倉人工関節センター・2019年6月



タイより研修医師2名来ました！



今回日本を訪れたことは素晴らしい経験になりました。
平川先生はじめ湘南鎌倉人工関節センターの先生方、
巽先生はじめ膝関節センターの先生方、温かく歓迎して下さい本当にありがとうございます。
SKJRCの術前計画の作成方法には驚きました。
術中の筋肉へのダメージを最小にする手技は本当に素晴らしかったです。
センターのチームワークは最高でした。
こちらで教わったことは全て感動的でした。
今回の出来事はずっと私の胸に残り続けると思います。

Dr. Worawut Keesupunt

湘南鎌倉人工関節センターと膝関節センターでの経験を決して忘れません。温かく迎えてくださり、色々とお世話頂きありがとうございました。
こちらで行われている最小侵襲手技は患者様にとって大切なものです。
OCM、mini-oneは、人工関節置換術の中でもより良い術式です。自分の病院でも患者さんにこの方法を取りたいです。
膝関節センターの研修で知った膝の最小侵襲手技は初めて学んだことでした。通常と違って脚の肢位をベッドから落とす膝関節の手術は自分の病院で行っているものとは違いました。もしもまた機会があればまたここを訪れたいです。
素晴らしい経験と思い出をありがとうございました。

Kittipong Yusuwan, M.D

▼発行元:

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台
5-4-17
電話: 0467-47-2377
FAX: 0467-47-2370

▼2019年5月手術件数 (単位: 件)

人工股関節置換術 : 51
人工股関節再置換術 : 0
その他 : 0

<http://www.skjrc.jp/>

学会報告

WCPT(World Confederation for Physical Therapy) Congressは、2年に1度開催される理学療法士の世界大会です。今年は、5月10-13日にジュネーブ(スイス)で開催されました。

今回、私は「Predictors of fall during the first year after total hip arthroplasty (人工股関節全置換術後1年間の転倒を予測する要因)」を発表してきました。結果は、人工股関節全置換術後の転倒には、手術前の股関節外転筋力が強く関連することが示唆されました。世界規模で高齢化が進む中、高齢者の転倒を予防する取り組みは非常に注目をされており、この中でも、人工股関節全置換術を施行した患者様の転倒を予測する要因を明らかにしたことは、とても意義のある研究だったと自負しております。また、各国の発表を聞き、幅広い視点で問題点を捉える重要性を感じました。今回の研究内容が、人工股関節全置換術を施行した患者の転倒予防に寄与することを願っております。

最後に、今回の研究、学会発表に手厚く協力して下さいました職場の皆様、被験者の皆様には深く御礼申し上げます。

理学療法士 二宮一成

次回の公開医学講座のお知らせ

日時: 令和元年6月13日(木) 14:30~
場所: 当院3F ラーニングセンター
(施設見学含む)
講師: 副院長 高柳 聡

申込方法: 電話またはホームページより
定員: 25名

日時: 令和元年6月27日(木) 14:30~
場所: 当院3F ラーニングセンター
(施設見学含む)
講師: 医長 落合 俊輔

申込方法: 電話またはホームページより
定員: 25名

